

絹本著色弘法大師画像 1幅(全興寺)

絹本著色弘法大師画像

けんぽんちゃくしょくこうぼうたいしがぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品[絵画]

所有者

宗教法人 全興寺(せんこうじ)

所在地

大阪市平野区平野本町 4

紹介

法量：縦 79.4cm×横 42.3cm



全興寺に伝来する 3 幅の中世仏画のひとつである。目の荒い絹地に、右手に五鈷杵、左手に数珠を取り牀座に坐す大師を描いた真如親王式の画像であり、賛・色紙は伴わない。彩色は製作当初の様子をよく残す。的確な写実性は作者の堅実な技巧をあらわしている。弘法大師の画像としては、表情が柔和な点が特徴である。製作年代は 15 世紀と考えられる。

用語解説

五鈷杵 ごこしよ

古代インドの武器。後に密教で、煩惱を打ち砕く仏の智慧を象徴する法具。